

〔 大佛次郎記念館 〕
平成 30 年度業務報告及び収支決算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業を示します。
※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	大佛次郎記念館
所在地	横浜市中区山手町 113 番地 港の見える丘公園内
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階 地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 593.13㎡ 延床面積 1,166.30㎡
開館日	昭和53年 5 月 1 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 近藤 誠一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで 5 年間

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針の総括

日本を代表する知識人・作家である大佛次郎の記念館として、資料の適切な収集・保管、公開、活用を通じ、作家と作品について後世に伝えていくミッションに取り組みました。また開館40周年という記念の年に際し、教育機関や地域、市民との連携を意識しながら、3つのテーマ展示を軸にさまざまな事業を開催し、前年度を上回る29,127人の来館者を迎えることができました。

次年度も引き続き「新しい文学館像」を模索し、基本方針に沿った施設の運営に取り組みます。

(2) 30 年度の業務の方針及び達成目標の総括

指定管理第 1 期の 3 年目である 30 年度は、開館 40 周年にあたり、前年度の大佛次郎生誕 120 周年に続き記念年が連続しましたが、堅実な事業の実施および施設の運営に取り組みました。具体的には、基本的な方針に掲げたミッションに基づいた展示や資料の収集・研究、教育機関を含めた地域のとの連携の推進、港の見える丘公園の立地を活かした施設の周知や SNS を活用した情報の発信、健全な収支の構造維持について注力しました。

【文化事業について】

3回のテーマ展示すべてにおいて観覧者目標者数を達成しました。テーマ展示Ⅰ「大佛次郎記念館の40年」では、大佛次郎記念館の40年と大佛次郎の著作と生涯を紹介しました。

テーマ展示Ⅱ「I Love スポーツ。大佛次郎」では、スポーツという意外な切り口から大佛次郎と著作を紹介しました。期間中にはラグビー関連のグッズ展示やウォーキングイベントなど、ふくらみのある企画を実施しました。テーマ展示Ⅲ『天皇の世紀』1555回の軌跡 取材旅行から絶筆までは、取材旅行や豊富な資料を通じて大佛次郎の歴史の描き方に迫る展示を行いました。また「おさらぎ選書」第26集を、「天皇の世紀 再考」として特集し発行しました。

30年度は、毎月第2土曜日に展示解説を、さらに第3土曜日に建物の魅力をお伝えするミニ・ミニ・トークを行いました。この取り組みは31年度も継続して行います。

文学館として大切にしている取組として「ミニ・ビブリオバトル」があります。第6回となる今回は、広く募集広報を行ったほか、中高校生をゲストバトラーとして招聘する試みを行い、読書活動の楽しさを伝えました。

【運営について】

施設利用者数を含めた来館者数は、昨年度実績を大きく上回る29,127人となりました。開館40周年無料入館デーをはじめ、6/2開港記念日、2/24天皇陛下在位30周年、3/28-31の展示替に伴う無料入館日を設けたことで、多くの方に記念館へ足を運んでいただく機会が生まれました。10月「ハロウィンウォーク2018」での山手地区他施設との連携や、元町、本牧といった近隣エリアの店舗や交通機関との広報協力や新たな協賛ご提供、10年ぶりの茶会の開催や恒例となった「大佛次郎×ねこ写真展2019」などにより、記念館の存在の周知と大佛次郎と記念館の魅力をお伝えすることに努めました。30年度はWEBを活用した広報を展開しました。とくに即時性のあるブログやTwitterで切れ目なく情報を発信したことで、Twitterフォロワー数が2倍になりました。

施設利用については、ウェディング会社への営業を行うなど積極的な広報に努め、ロケーションフォト利用が増えました。

【管理について】

開館から40年が経過し、経年劣化への目配りと対応が常に必要な状況にあります。30年度は懸案であった和室外壁の防水工事を行ったほか、機械警備設備更新工事や横浜市による非常用照明設備の更新工事が行われ、施設の安全に直結する備えができました。

4 事業の取組についての達成状況

(1) 文化事業について

ア 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・資料収集 ●大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。	■おさらぎ選書「資料収集」欄への掲載	■29年度受贈資料について、「おさらぎ選書」第26集の「資料収集」欄に掲載しました。 ■30年度については18点の資料受入を行いました。資料購入はありませんでした。

・資料保存 ●貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保全を行います。 ●専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。 ・展示公開 ●常設展(収蔵品展) 「大佛次郎の生涯と作品」にスポットを当てた展示を展示室で実施します。 ●愛蔵品展示コーナー ●1階ロビー展示 年表パネル・写真パネルの展示 ・展示以外の資料公開 ●閲覧室での図書の閲覧	■毎日2回の点検、記録、調整の実施 ■特別書庫内使用の出入庫表への記録 ■年1回の燻蒸 ■月1回の資料整理 ■必要な資料の修復の実施 ■年間を通じて順次展示替えを実施 ■年3回の企画展に合わせて内容の見直し ■年1回の展示替の実施 ■展示替の実施：随時 ■閲覧室での図書の閲覧	□開館・閉館時に点検、記録、調整を実施 ■特別書庫内使用の出入庫表への記録の実施 ■燻蒸に替え、総合的有害生物管理(I P M)を導入し、職員全員がI P Mの考え方を学ぶ研修を受講しました。 □専門業者による書庫内防塵防黴作業 1回、職員による同作業 1回 実施 □月1回の資料整理 実施 ■藤田嗣治の書籍修復ならびに、オープンリールに録音された大佛次郎講演録のデジタル化を行いました。 □収蔵品展示 「大佛次郎-人と作品-」と題し展示を行いました。生涯をたどる構成に加え、「横浜フランス月間 2018」にあわせ、大佛のフランス映画にまつわる資料を展示したほか、「横浜」、「猫」、「天皇の世紀」等、6月、7月、11月にコーナーごとの展示替えを実施しました。 □愛蔵品展示コーナー 展示替 1回・4月実施 大佛次郎が見出した日本画家・佐多芳郎にスポットをあて、大佛作品の挿絵や交流について紹介しました。 □パネル更新 12月 パネルに日焼けが生じたため更新を行いました。 ■記載どおり実施
---	--	--

●「おさらぎ選書」に収蔵資料の一部内容を掲載 ●収蔵資料のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。 ●的確なレファレンスサービスを提供します。	■「おさらぎ選書」に収蔵資料の一部内容を掲載します □ホームページ上で新規に公表するデータ数：400件以上 □レファレンスサービス件数：年間50回以上	■11月発行の「おさらぎ選書」第26集で目録を掲載しました。 □昭和34年から48年刊行の大佛次郎の自著についてデータ整理を進め、新規に656件のデータをホームページ上に公表しました。 □年間レファレンス件数：89件 海外からの来館者を含め、幅広い層からの照会に対応し、情報の発信に努めました。 ■浮世絵で演出した両国のねこカフェ「江戸ねこ茶屋」に所蔵品データを貸出しました。 ■目黒雅叙園「猫（ニャン）都の国宝展@百段階段」に所蔵品を貸出しました。 ■ニューヨーク・メトロポリタン美術館「The Tale Of Genji」展に所蔵品を貸出しました。
---	--	--

イ 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

[取組内容] ・大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。 ●テーマ展示の実施 ・テーマ（企画）展示（関連講演・講座等の開催、財団運営施設等の主催講座への出張含む） ●テーマ展示Ⅰ 大佛	[達成指標] □テーマ展示の実施：3回 □観覧者目標 16,500人 (H27実績 14,904人 H28実績 20,563人 H29実績 22,771人) □観覧者目標数：6,200人	[実施内容と達成状況] □テーマ展示の実施：3回 □テーマ展示Ⅰ～Ⅲ展示観覧者数：26,258人(昨年度比3,487人増) ■テーマ展示Ⅰ 大佛次郎記念館開館40
---	---	---

次郎記念館開館 40 周年記念「大佛次郎記念館の 40 年 1978～2018」 ・大佛次郎記念館開館 40 周年を記念誌、大佛次郎の著作と生涯、そして記念館の開館までを振り返り、記念館の歴史を紹介します。 ・記念館で行ったこれまでの展示を紹介し、大佛次郎と記念館所蔵コレクションの多面的な魅力に迫ります。 ・ターゲット：大佛次郎の愛読者、記念館の展示、活動や建物に興味のる方。 ・期間：3月15日（木）～7月8日（日） ●テーマ展示Ⅱ	■大佛次郎記念館開館 40 周年記念公募展示パネル「私の好きな大佛次郎の一文」：期間中に公開 ■大佛次郎記念館開館 40 周年記念日の実施 5月1日（火）～3日（木・祝）の3日間を無料入館デーとし、来館者の皆さま方と開館 40 年をお祝いします。 ■収蔵品を和室にて特別公開 6月9日（土）、10日（日） □展示解説：各月第2土曜日に実施 □大佛次郎記念館＜ミニ・トーク～建物の魅力発見～＞：期間中4回実施 □観覧者目標数：5,400 人	周年記念「大佛次郎記念館の 40 年 1978～2018」 会期 3月15日（木）～7月8日（日） □観覧者数：12,710 人 ■大佛次郎記念館開館 40 年を記念し、開館から 40 年の歴史と過去の展示テーマを紹介し、大佛次郎の著作と生涯を、漫画家・横山隆一画「大佛次郎作品道中図絵」とともにたどる展示を行いました。 ■展示解説に加えて、記念館の建築や意匠の魅力を紹介するミニ・ミニ・トークをスタートさせました。 ■ 5月1日から7月8日まで、公募で寄せられた「私の好きな大佛次郎の一文」32点をロビーで展示しました。本の表紙を開いて一文を読んでいただく趣向が楽しいと好評でした。 ■大佛次郎記念館開館 40 周年 入館無料デーの開催 5月1日（火）、2日（水）、3日（木） 5月1日の開館記念日にはお楽しみ抽選会を開催し祝祭感を盛り上げたほか展示解説を各日2回、「建物のヒミツ」ツアーを各日1回実施しました。 □期間中入館者数 4,702 人 ■和室の特別公開を実施 6月9日（土）、10日（日） 記念館所蔵の佐多芳郎の日本画「献花」「蛭」及び岩田藤七作のガラスの水指2点を和室内で観覧していただきました。 □期間中入館者数 計 107 人 ■展示解説 9回 164 人 ■建物ミニ・ミニ・トーク 7回 111 人 ■テーマ展示Ⅱ 大佛次郎記念館開館 40
---	---	--

大佛次郎記念館開館 40 周年記念「大佛次郎とスポーツ」 ・2019 年ラグビーW杯、2020 年東京オリンピックを目前に、野球・ヨット・テニス・スキー・ゴルフなど、若き頃から晩年に至るまで大佛次郎が愛した、さまざまなスポーツに焦点をあてます。 ・ターゲット 夏休みのファミリー層、スポーツ愛好者、観光客などあらゆる層 ・期間 7 月 14 日（土）～11 月 11 日（日） ●テーマ展示Ⅲ 大佛次郎記念館開館 40	■「スポーツ」を通じ幅広い層への認知度アップをはかる。 ■展示解説：各月第 2 土曜日に実施 □観覧目標数：4,900 人 ■「おさらぎ選書」第 26 集	周年記念「I Love スポーツ。大佛次郎 スポーツマン作家 10 のストーリー」 会期 7 月 14 日（木）～11 月 11 日（日） □観覧者数：7,792 人 ■学生時代から多くのスポーツに親しみ、文壇きってのスポーツマンとしての大佛次郎にスポットをあてた展示を行いました。大佛次郎とスポーツについて 10 のストーリーで紹介し、多彩な切り口で大佛のスポーツへの愛情に迫りました。 ■展示解説 6 回 47 人 ■建物ミニ・ミニ・トーク 4 回 25 人 ■QRコードを読み取ると展示エッセイの朗読を再生する YouTube のリンクにつながる仕組みを、3 か所で実施しました。 ■大佛次郎の随筆からスポーツにまつわるから 4 編を選んで、ブックレット「I Love スポーツ。スポーツエッセイ集」を制作し、販売を開始しました。 ■横浜市市民局ラグビーワールドカップ推進課の協力により、トライフォトやラグビークイズ、ラグビーボール等の関連グッズを借りて設置し、イベントの機運醸成に寄与するとともに夏休みの子どもたちにラグビーを知ってもらう機会を設けました。子どもたちがトライフォトを行う様子を Twitter で紹介 ラグビー関連展示期間 7 月 26 日～8 月 26 日 □期間中の入館者数 1,155 人 ■関連事業「山手&根岸ウォーキング」 10 月 14 日（日） 横浜山手テニス発祥記念館や馬の博物館など大佛作品ゆかりの場所をめぐる約 5 キロのウォーキングを開催しました。 □参加 31 人（応募 38 人） ■テーマ展示Ⅲ
--	---	---

周年記念・明治 150 年 記念「『天皇の世紀』 ー取材旅行が語るもの」 ・明治 150 年、「天皇の 世紀」50 年を記念し、 大佛次郎が訪れた取 材旅行での足取りを たどりつつ、大佛次郎 の歴史の見方、紡ぎ方 にせまります。 ・ターゲット 日本文学愛好者、歴史愛 好者、史跡等に興味のある 旅行愛好者 ・期間 11 月 17 日（土）～平成 31 年 3 月 10 日（日） ●おさらぎ選書の発行 「おさらぎ選書」第 26	の資料紹介と連動した展 示内容とします。 ■展示解説：各月第 2 土曜 日に実施 ■関連事業：講演会実施（予 定） ■「おさらぎ選書」第 26 集 では、「大佛次郎『天皇の	大佛次郎記念館開館 40 周年記念「大佛次郎 『天皇の世紀』1555 回の軌跡ー取材旅行か ら絶筆まで」 会期 11 月 17 日（土）～31 年 3 月 24 日（日） □観覧者数：5,756 人 ■明治維新を緻密な手法と独自の視点で紡 いだ史伝「天皇の世紀」の魅力を紹介す る展示を開催しました。闘病をおして精 力的に出かけた取材旅行のエッセイやメ モ、写真や日記「つきじの記」から作家 の創作の軌跡をたどりしました。 134 点にのぼる展示点数と、見ごたえの ある構成に、お客様から満足の声をいた だきました。 ■展示解説 4 回 55 人 ■建物ミニ・ミニ・トーク 4 回 25 人 ■「天皇の世紀」について語る大佛次郎の 音声再生できるコーナーを 2 か所に設 け、肉声を初公開しました。 ■テレビ映画「天皇の世紀」第 16 話「大政 奉還」上映（約 30 分） 1 月 26 日～2 月 3 日 各日 1 回 □視聴者数 計 59 名 「天皇の世紀」をドキュメンタリー仕立 てにしたテレビ映画をロビーにてご覧い ただきました。 ■関連イベント 「鞍馬天狗のいない明治維新 大佛次郎 『天皇の世紀』再読」 11 月 24 日（土）、神奈川近代文学館 講師 成田龍一（日本女子大学教授） □入場者数 110 名（チケット申込 111） ■「天皇の世紀」講演録よりブックレット 「講演録 生地のままに」を新たに制作 し、販売を開始しました。 ■「おさらぎ選書」第 26 集 11 月 17 日発行
--	--	---

集を発行します。また、31年度の第27集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。 ●所蔵資料を用いた書籍・論文等の活用 (書籍の閲覧室での公開、受付での販売の実施) ・情報の集積と発信 ●一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリース(新収蔵、初公開などの情報を発信) ●ウェブ紹介による来館の動機づけ ●ホームページの充実や、ブログやSNSを用いたタイムリーな発信	世紀』再考」と題し、論文「大佛次郎『天皇の世紀』を読む(仮)」「大佛次郎の『天皇の世紀』取材旅行(仮)」、及び『『天皇の世紀』取材旅行の旅程』等を掲載します。 発行予定年月:平成30年11月中 ■29年度に制作、販売を実施したミニ冊子「鎌倉通信」を、引き続き販売します。 □テーマ展を中心に記者発表を実施:年3回以上 □財団発信のPR TIMESを活用し、ウェブでの掲載機会を増やします。発信回数:年5回以上 ■Twitter、Facebookを使った積極的なSNS発信を行います。 □公式ホームページ情報更新回数:月3回以上 □公式ブログ更新回数:月5回 □Twitter、Facebookでの発信回数:毎月5回 ■公園内の話題(季節イベントや花の話題等)や山手西洋館の行事や、公園内のウェディング撮影にも積極的に言及します。	■旅行日記、エッセイのほか、当館研究室職員による旅行日記に関するリストならびに文章を掲載しました。 ■「開館40周年に寄せて」として横浜市長の挨拶文を掲載しました。 ■31年度の第27集発行に向け、「帰郷」をテーマに3名に執筆依頼を行いました。 ■「鎌倉通信」に加え、ブックレット「I Love スポーツ。スポーツエッセイ集」「講演録 生地のままだに」を制作、販売しています。 □記者発表10回 □PR TIMESでの発信11回 ■開館40周年で寄せられた来館者からの声をTwitterで紹介しました。 □公式ホームページ更新回数52回(月平均4.3回) □ブログ更新回数 年間79回、月平均6.6回 □Twitter 発信回数547回、月平均45.6回、フォロワー数188人、前年度比89人増 記念館の情報に留まらず、港の見える丘公園の草花の話題などを写真と合わせて情報発信を行いました。フォロワー数が年度当初の約2倍になりました。 □Facebook 更新回数 年間79回、月平均6.6回
--	--	---

		□メールマガジン発行回数 7回、登録者数は年度末で113人です。
--	--	----------------------------------

ウ 各種文化的行事の実施

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・各種文化的行事の実施 各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。 ●大佛次郎文学散歩 テーマ展示Ⅱ関連事業「大佛次郎とスポーツ」をテーマにした内容で実施 ●「大佛次郎賞受賞記念講演会」朝日新聞社との共同主催 ●大佛次郎研究会公開発表会	□大佛次郎文学散歩 年1回 □参加者数 21人 ■年1回（3月予定） □参加者数 240人 ■横浜市開港記念会館講堂での開催 ■大佛次郎研究会に対し「覚書」に則り会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図ります。 ■年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。	■テーマ展示Ⅱ開催期間中の関連イベント「山手&根岸ウォーキング」開催（再掲） 10月14日（日）9:30-12:30 ■大佛作品ゆかりの場所をたどりながら、横浜におけるスポーツの歴史を振り返るウォーキングツアーを開催しました。当館研究室職員による踏み込んだ解説とテーマ性あるコース設定に、参加者の97%が「満足」「やや満足」とアンケートで回答する充実した催しとなりました。 □参加者 31人（応募 38人） ○第45回大佛次郎賞受賞作「極夜行」角幡唯介さんによる講演会は、講師都合により31年6月29日（土）に開催日変更となりました。 ○大佛次郎研究会公開発表会 5月26日（土）、神奈川近代文学館展示館2Fホール 入場者数 90人 当館研究室職員が「大佛次郎初公開日記をひもとく～戦後の出発点～」として講演しました。なお11月の公開発表会は開催がありませんでした。 ■記念館会議室の優先予約や広報物の作成代行・配布を通じ同会の活動を支援しました。

●大佛次郎記念館開館40周年記念「特別展示@和室」の実施（再掲） 6月9日（土）～6月10日（日） ・施設及び山手エリアの活性化 ●和室公開 春の桜、晩秋の紅葉の時期に貸館としての利用が入っていない日に限って、和室を公開し、来館者に窓から眺められる景色を楽しんでいただきます。大佛もしくは記念館の魅力が伝わる展示等を行い、部屋の魅力をアピールします。 ・春3月下旬-4月上旬（予定）のうち、貸館利用のない日限定 ・秋11月下旬-12月上旬（予定）のうち、貸館利用のない日限定 ●大佛茶亭公開 鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。 ・春4月8日（土） ・秋10月6日（土）	■収蔵品の中から佐多芳郎筆の日本画数点などを和室にて特別公開 □実施回数 年2回 ■将来的な貸館利用率向上につながるように、和室の魅力をアピールします。 □和室から見える景色（桜・紅葉）をブログとツイッターを通じて発信する。（年4回） ■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。 ■テーマ展示毎に茶亭の展示コーナーを展示替えます。	■和室の特別公開実施（再掲） 6月9日、10日 記念館所蔵の佐多芳郎の日本画「献花」「蛭」及び岩田藤七作のガラスの水指2点を和室内で鑑賞していただきました。 □期間中の入館者数 107人 □和室公開 2回実施 春3月31日（土）-4月8日（日）（9日間） 秋11月27日（金）-12月14日（日）（18日間） ■春、秋とも季節にちなんだ大佛次郎の俳句を展示しました。（春6点、秋5点） □来場者数（期間中来館者数） 春：991人、秋：752人 □ブログでの発信 3回 □ツイッターでの発信 4回以上 ■鎌倉・大佛茶亭にて書籍・グッズ販売と収蔵品のミニ展示により記念館のPRを行いました。 □来場者数 4月8日（土）：489名、10月6日（土）：338人 ■テーマ展示にあわせ、茶亭展示コーナーの展示替えを3回実施しました。
---	---	---

・子ども対象事業を実施します。 ●小学生ミニ・ビブリオバトル 本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、ミニ・ビブリオバトルを実施します。 ○夏休み子どもアドベンチャー 市教委主催の夏休み子どもアドベンチャーに参加し、子どもたち及び保護者の入館を促進します。(よみきかせ、ねこを描こう) ●感想画展、館内クイズラリーなど、平成 28 年度からの小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画を実施します。 ○神奈川県博物館協会	■昨年度に引き続き第 6 回ミニ・ビブリオバトルを実施します。 □年 1 回開催 ■年 1 回開催（8 月中の 2 日間） □参加者目標：28 人(各日 2 回開催、定員 10 名) □年 1 回実施 夏休み子どもアドベンチャーとして実施予定（再掲） ■ミュージアム・ミッション	■第 6 回ミニ・ビブリオバトル 開催日 12 月 1 日(土) 6 月 28 日に北方小学校児童 296 名を対象にミニ・ビブリオバトルのデモンストラーションを行ったほか、中区小中学校校長会で説明しました。また市内国公立・私立小学校 27 校に 6,500 枚の募集ちらしを配布し、事業の周知に努めました。 □ミニ・ビブリオバトル応募者 8 人 □ミニ・ビブリオバトル参加者 7 人 見学者 42 人 ■初の試みとして中高生図書研究部の 3 人をゲストバトラーとして招聘し今後の事業展開の参考としました。 ■夏休み子どもアドベンチャー 開催日 8 月 16 日(木)、17 日(金) 大佛次郎の童話「白猫白吉」を参加者の子どもたちに読み聞かせ、感想画を描いてもらいました。希望する保護者にはテーマ展示の解説を実施しました。また、感想画は 8 月末までサロンに展示したほか、許可を得て当館年賀状にデザインしました。 □参加者 子ども 44 人 保護者 41 人 ■高校生職業体験として高校 1 年生 2 人を受け入れ、朗読係やイベント補佐に活動してもらいました。 ■夏休み子どもアドベンチャー(再掲) 開催日 8 月 16 日(木)、17 日(金) ○ミュージアム・ミッション 2018
---	---	---

主催のミュージアム・ミッションに参加し、来館者増を図ります。 ・観光客や新規来館者を呼びこむ企画 ○「大佛次郎×ねこ写真展 2019」企画の実施 大佛次郎の愛した猫を切り口に、新たな来館者層を開拓します。 (2月～4月上旬開催予定)	ン 2018 に参加します □参加者目標：300 人 ■恒例行事化を目指し、3 回目の実施。 □会議室での展示事業として年 1 回実施 □入館者目標：3,500 名	会期：7 月 21 日(土)～8 月 31 日(金) □参加者 85 人 ■記録的な猛暑によるスタンプラリー不振とルール複雑化が影響し、参加者数が大きく落ち込みました。 ■大佛次郎×ねこ写真展 2019 会期：2 月 26 日(火)～4 月 14 日(日) □来館者数：3,074 人(3 月 31 日まで) 会期最終来館者数 4,610 人) ■今回から応募写真にコメントを 18 文字で付してもらい、写真とコメントのコラボレーションを楽しむ趣向としました。 「いまじねーしょんねこ 2019」では、大佛次郎「帰郷」のせりふとぴったりくる猫写真をパネル展示し、また大佛次郎と猫のかかわりを写真と文章で見ていただくことで、愛猫家・大佛次郎をアピールしました。 □ねこ写真展 応募点数 484 点、190 人 □ねこ写真展の人気投票による上位者への賞品提供会社が 1 社増え、4 社となりました。
---	---	--

エ 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

[取組内容] ・記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。 ●茶会（学校茶道部）の利用促進を行います。	[達成指標] ■学校茶道部への広報の実施 ■利用案内の送付	[実施内容と達成状況] ■「レトロな洋館で楽しむ クリスマス茶会」学校茶道部誘致に替えて実施 12 月 16 日（日）10：30～ 1 席 400 円 和室の茶会利用を促進するため、地元企業 2 社の協賛を受け約 10 年ぶりの主催茶会を開催しました。「クリスマス」をテーマに、海に見える和室の佇まいの良さ
--	--	---

・会議室、和室の利用促進 建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。 ●ウェディング撮影 ●ドレス撮影 ●学校等の利用促進 (ボランティアへの会議室の減免提供、小学生ミニ・ビブリオバトル参加校への会場としてのサロン提供) ●研究団体への場の提供	■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘致を推進します。 公園内のウェディング撮影にも積極的に言及します。(再掲) ■ホームページやSNSを活用しての広報の実施 □ドレス撮影会、商業撮影の誘致 年5回以上 □小学校内ミニ・ビブリオバトルの会場利用：1校	を来館者に伝えることができました。 □参加者 79人 □茶会招待状と施設利用案内を近隣中学校8校に送付しました。 ■学校茶会の開催について茶道関係者からアドバイスを受け、事業展開の参考としました。 □ウェディング撮影による利用2回(外観) □ウェディング会社への営業活動 5社 ■利用のあった際は即時Twitterで発信しました。 □ドレス・着物撮影等の利用 9回 □卒業式の袴レンタル会社への撮影利用案内の送付 4社 ■「赤いくつ」号バス車内映像、横浜観光コンベンションビューローウェブサイトの撮影があり、施設の周知につなげました。 □北方小学校の校内決戦会場提供 1校 □大佛次郎研究会への会議室提供 1回 □大佛次郎研究会会員募集への協力
---	--	---

(大佛次郎研究会、フランス経済史研究会の活動支援) ●市民団体への場の提供 (天皇の世紀を読む会の活動支援) ●その他 ・リピート利用に向けた方策 ●和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 ●会議室での自主事業の実施 ●会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善。 ●ホームページでの情報提供 ・ティールーム「霧笛」との連携 ●相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 ●記念館活性化プロジェクトで開発されたメ	■撮影等、特徴ある利用実績を記録し、アピールに使用します。 ■主催または共催で、会議室の連続利用につながる展示事業を開催します。 ■附帯設備を充実します。 ■「大佛次郎×ねこ写真展 2019」実施 ■改善を実施し、実績をホームページやSNSを通じて発信します。 ■昨年度ホームページに開設した「和室・会議室空き状況」ページを円滑に運営します。 ■チケット半券＝レシートの提示による相互割引を継続します。また団体客や貸館利用者へティールームの利用を呼びかけます。 ■夏季限定で大佛フラップの提供を継続します。	■資料閲覧への協力 ■特徴ある利用は、即日 Twitter で発信し、またブログで写真を交えて紹介しました。(落語会、朗読会、ビブリオバトル、きもの撮影、ドレス撮影等) ○共催事業「山手ユースギャラリー」 2月16日～22日 会議室利用 ■主催事業「大佛次郎×ねこ写真展 2019」 2月26日～4月14日 会議室利用 ■附帯設備についてHPに掲載、紹介しました ■「大佛次郎×ねこ写真展 2019」2月26日～4月14日 会議室利用 (再掲) ■和室の踏み台についてブログで紹介しました。 ■「大佛次郎×ねこ写真展 2019」開催期間の和室半額プロモーションを展開しました。 ■ホームページ内「和室・会議室空き状況」の随時更新を行いました。 ■相互割引の実施 ■和室・会議室の利用案内表に相互割引やケータリングの情報を追加しました。 ■横浜みなとみらいホールとの共催事業においてコーヒーサービスを付けてチケットを販売し喫茶利用につなげました。 ■フランスをイメージした3色 (トリコロール) シロップをかけたかき氷「大佛フ
--	--	---

● 県立神奈川近代文学館との連携 ・ 近隣商店街等との連携 ● 元町商店街(元町SS会)、横浜高速鉄道(株)、ホテルニューグランド、霧笛楼と連携します。(近隣商店街等とのつながりを大切にし、関係性を深めます。) ● ポンパドウルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた商品の販売継続を働きかけます。 ● ポンパドウルとポスターの相互掲示を継続 ● 元町商店街との広報連携について協議	□ 山手通信への情報掲載 年 6 回 ■ 大佛次郎生誕 120 年の時に築いた協力関係を維持し、観覧者の相互割引を継続します。 ■ ポスター掲示や賞品提供等のご協賛を依頼します。 ■ 冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の継続販売を働きかけます。 ■ ポスター掲示を依頼し、当館においてもポスター掲示で協力関係を維持します。 ■ ホームページでの相互リンク設置 29 年度にホームページの相	ました。初めて記念館に入ったという声も多くあり、施設の周知につながるイベントとして位置づけています。 □ 山手通信（隔月発行）への情報掲載 年 6 回 ■ 入館料の相互割引実施の継続 ■ 「大佛次郎×ねこ写真展 2019」に対してホテルニューグランド、ポンパドウル、元町霧笛楼に加え、新たに小港町にある美濃屋あられ製造本舗から賞品協賛をいただきました。 ■ 「クリスマス茶会」に対して本牧・栗田園、元町香炉庵から協賛をいただきました。 ■ 横浜高速鉄道(株)の「元町・中華街駅」での通年ポスター掲示、「日本大通り駅」でのテーマ展示Ⅱのポスター掲示および SNS による広報協力が実現しました。 ■ 隣接するKKR ポートヒル横浜および元町霧笛楼に入館割引券の備え置きを依頼し、回遊観光を狙いました。 ■ ポンパドウル元町本店「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売実施 期間 12 月 1 日～1 月 31 日 ■ ポンパドウル元町本店での通年ポスター掲示 ■ ポスター掲示に替えて Twitter にて紹介 ■ ホームページの相互リンクの継続
--	--	---

●横浜高速鉄道株式会社との連携 ●ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。 ●その他連携 ●研究者団体等の文化活動への場の提供 ●財団他施設との連携	互リンクを設置しており、広報協力を継続します。 ■駅構内でのポスター掲示の実施 ■みなとぶらりチケット等の団体割引適用 ■宿泊プランの継続を働きかけます。 ■霧笛楼でのチラシ配架 テーマ展示のちらし配架の依頼を働きかけます。 ■大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定関係を継続します。 ■記念館内でサロンコンサートを実施し、新たな顧客層の開拓につなげます。	■「元町・中華街駅」での通年ポスター掲示、「日本大通り駅」でのテーマ展示Ⅱのポスター掲示（再掲） ■みなとぶらりチケット提示による入館料の割引実施 ■Twitter による広報協力（再掲） ■ホテルニューグランド「天狗の間宿泊プラン」販売を継続 ■当館職員による「天狗の間」見学会実施 ■元町霧笛楼および香炉庵のパンフレットを館内で配架 ■西区ハマのウォーキングフェスティバル、平成 30 年市民が選ぶ横浜 10 大ニュースへ協賛を行いました。 ■大佛次郎研究会との覚書による協力関係を継続 ■フランス経済史研究会との協力関係を継続 ○横浜みなとみらいホール共催「文豪・大佛次郎の愛したパリと音楽 ～大萩康司（ギター）」 9 月 10 日（月）13：30 開演 「建物のひみつ」トークとパリと大佛の関係のお話のあと、ギター演奏を楽しんでいただきました。サロンの雰囲気によく合ったコンサートとなり、お客様の満足度も高いイベントとなりました。 □入館者数 34 人（チケット 40 枚完売）
--	---	---

・市民協働 ●N P O 法人横浜シティガイド協会との連携 ●記念館ボランティア 展示作業、イベント開催のお手伝いをいただきます	■記念館へのツアーを促進のために、協力関係を模索します。 ■ボランティアメンバーの拡充をはかります。	■シティガイド協会のツアーについては団体料金を適用の上、ガイドは入館無料とする覚書を12月に締結しました。 ■横浜美術館ビジターガイドの仕組みをヒアリングするなど情報収集にとどまりました。(未達)
---	--	--

カ 広報・プロモーション活動等の推進

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・従来からの広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続します。またSNS等を活用したプロモーション活動を行います。 ●年間スケジュールちらしの配布 ●山手通信への情報提供 ●イベントちらしの作成(年3回、各回8,000枚以上) ●アートナビへの掲載 ●新聞等掲載(市政記者発表、広報よこはま中区版への情報掲載依頼、タウンニュース中区・西区版への情報提供の実施) ●大佛次郎及び記念館紹介ビデオの放映	□3か月スケジュールの発行：年4回 □山手通信への情報提供年6回(再掲) □年3回、各回8,000枚以上 □年3回(7月、11月、3月)全号に情報を提供 □テーマ展を中心に記者発表を実施する：年3回以上(再掲) ■28年度に作成した紹介ビデオを、引き続きエントランスにおいて放映し、入館者増につなげます。	□年3回発行(未達) イベント開催時期との兼ね合いで7月、11月、2月の3回発行となりました。 ■山手通信へ情報提供(再掲) □イベントちらしの作成 17件 □ちらしは展示・イベントに応じて6,000～12,000枚を作成しました。 □記者発表回数 10回 テーマ展示3回、開館40周年無料デー、和室特別公開、「天皇の世紀再読」講演会、ミニ・ビブリオバトル、クリスマス茶会、ねこ写真展2019の募集・開催 □記事掲載件数(WEB含む) 569件 ■日本語・英語の2か国語で開館時放映 夏にエントランスから館内にモニターを移設し、腰掛けてゆっくりと見ていただけるよう運用を変更しました。

●ホームページを通じた情報発信及びSNSを活用したプロモーションの実施 (ホームページ、ブログ、Facebook、Twitter、ヨコハマアートナビ、ヨコハマ・コードモアートナビ等を活用) ●CATVでの情報発信 CATV局やその他TV局と連携して、企画展等の情報を発信します。 ●その他の工夫	■28年度に開設した和室、会議室の利用状況・空き状況のページを、引き続き状況を円滑に更新します。(再掲) □ホームページ情報更新 月3回以上(再掲) □ブログ更新回数： 月5回以上(再掲) □Facebook、Twitterでの発信：各月5回以上(再掲) □CATV等TV局からの情報発信：年3回以上 ■テーマ展示Ⅰに合わせ、YouTubeを利用した音声案内を本格稼働します。	■予約申込と同日にページ更新(再掲) (以下、再掲) □ホームページ更新 52回(月平均4.3回) □ブログ更新 79回(月平均6.6回) □Facebook更新 79回(月平均6.6回) □Twitterツイート数 547回(月平均45.6回) ■テーマ展の情報発信のほか、ねこ好き作家としての紹介や濱明朝をテーマにした取材がありました。 □TV年8回、ラジオ年10回 ■テーマ展示Ⅱにおいて、ギャラリー内のQRコードを読み取りYouTubeのスポーツエッセイの朗読を聞くことができる仕組みを提供しました。(再掲) ■「西区ハマのウォーキングフェスティバル」、「平成30年市民が選ぶ横浜10大ニュース」へ協賛を行い、大佛次郎記念館名がちらしやゴールパネルに掲出されました。
--	--	---

キ 後世に継承するための記念館の活性化

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備 ●大佛次郎の自著や関連書籍の販売協力	■28年度末、小学館刊行の「500匹と暮らした文豪大佛次郎と猫」を始めとする大佛次郎自著や関連書籍の販売協力を行い、	■現行の発行書籍についてはショップで販売

●その他 ・フランス関連資料の活用 ●企画展や常設展示コーナー等での展示 ●横浜フランス月間への参加 ・若者の来館促進 ●スタンプラリー等参加 ●「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承 活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。 ●子どもたちが記念館に集う取組	普及に努めます。 ■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。また所蔵資料を活用した出版も併せて働きかけます ■収蔵品展で展示活用します。 ■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。 (29年度実施例:ミュージアムクイズラリー) ■ポンパドウルに、冬季限定パン「冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売を、ティールーム霧笛に夏季限定で大佛フラッペの販売継続を依頼します。(再掲) ●28年度から実施された、小中学生入館無料化の周知と、夏休み子どもアドベンチャーや小学生ミニ・ビブリオバトル、「大	■出版社を訪問し復刊について相談 2社 □テーマ展示Ⅱ、Ⅲに関連するブックレットの発行 2冊 ■収蔵品展の猫コーナーで洋書の猫の本14冊を展示しました。 ■横浜フランス月間への参加 「大佛次郎の雑誌でたどる1920年代フランス映画」 6月12日(火)～7月8日(日) 大佛次郎が愛読した「Cinémagazine」など1920年代の仏映画雑誌や映画「女だけの都」ポスターなど約20点を展示しました。 ○ミュージアム・ミッション2018(再掲) 会期:7月21日(土)～8月31日(金) □参加者 85人 ■ポンパドウル「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売(再掲) ■ティールーム霧笛「大佛フラッペ」の販売(再掲) ■小中学生入館料無料を継続 ■夏休み子どもアドベンチャー(再掲) 会期:8月16日(木)、17日(金) ■ミニ・ビブリオバトル(再掲) 12月1日(土)
--	--	--

● 記念館オリジナルキャラクター「くらまくん」の露出による記念館のイメージアップ ● スタッフの展示案内によるリピーターの確保 ● 愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開 ● 収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会(会員構成：メディア・有識者等・市等)の意見、年次評価等を活用したPDCAサイクルの構築 ● その他	佛次郎×ねこ写真展 2019」など、親子の来館を促進する企画により、入館者増をはかります。 ■ 29年度より P+D 文庫の「鞍馬天狗」復刊を記念したキャンペーン（くらまくん缶バッジプレゼント）を継続します。 □ 団体入館者に対する解説：年 40 回以上 ■ 「大佛次郎×ねこ写真展 2019」の実施、及び恒例化 ■ 個別事業評価システムによる自己評価の実施 ■ 文学懇話会の開催予定日：6 月 22 日(金)、11 月 30 日(金) ■ 年次評価の実施（自己評価、行政評価、外部評価） ■ 29 年度に作成したミニ冊子「鎌倉通信」を引き続き販売します。 ■ 大佛次郎記念館開館 40 周年記念デー（再掲）	■ 大佛次郎×ねこ写真展 2019（再掲） 2 月 26 日（火）～4 月 14 日（日） ■ キャンペーンを継続実施 □ 団体入館者に対する解説：年 82 回（展示解説、ミニミニトークを含む） 団体客のニーズに合わせ説明の長さや内容を変えての解説が好評でした。 ■ 大佛次郎×ねこ写真展 2019（再掲） 会期：2 月 26 日（火）～4 月 14 日（日） ■ 個別事業評価システムにより、事業計画から終了報告まで収支を含めた事業毎の執行管理を適切に行いました。 □ 文学懇話会の開催 年 2 回 6 月 22 日(金)、11 月 30 日(金) □ 政策経営協議会 年 2 回 6 月 25 日、11 月 8 日 □ 選定評価委員会 年 1 回 8 月 23 日 ■ ミニ冊子「鎌倉通信」に加えてブックレット「I Love スポーツ。スポーツエッセイ集」「講演録 生地のままに」の 2 冊を作成、販売しました。（再掲） ■ 大佛次郎記念館開館 40 周年入館無料デー（再掲） 5 月 1 日、2 日、3 日 ■ 和室での収蔵品特別展示（再掲） 6 月 9 日、10 日
--	---	--

	(団体料金 150 円) 小中学生 無料 ☐ 年間入館者目標：19,000 人 一日の入館者目標：64 人 (実績：25 年度 15,770 人 26 年度 16,678 人 27 年度 17,036 人 28 年度 22,507 人 29 年度 24,492 人)	☐ 年間入館者数：29,127 人 (昨年度比 4,635 人増) 一日平均の入館者数：98 名
--	---	---

イ ユーザーニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

[取組内容] ●施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内強化による利用促進 (貸出施設の案内、ホームページへの撮影等の利用案内の掲載等) ●アンケート等によるユーザーニーズの把握 (和室無料公開の継続、会議室の学校関係の利用の促進、利用者へのアンケート及びインタビュー調査等の実施) ●要望・苦情等への対応 (要望・苦情の館内・財団・市との適切な共有と対応) ●案内・説明表示の外国語表記対応	[達成指標] ■メルマガ登録者を増加させるためのキャンペーンを行います。 ■メールマガジンによる施設案内を発信します ■来場者に対するアンケートを実施します。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。 ■改善事例については、ホームページ、SNS等で情報発信します。 ■案内パンフレットの英語版：外国からの入館者に	[実施内容と達成状況] ■ねこ写真展期間中にメルマガ募集キャンペーンを実施し、登録者を募りました。 ☐メルマガ登録数 113 人(前年度比 45 人増) ☐メールマガジン発行 7 回 ■来場者アンケートは翌月はじめに集計し、館内で情報共有しました。 ■施設運営の課題について、速やかに職員・財団・横浜市と情報共有し解決をはかるようにしました。 ■ねこ写真展期間中にアンケートキャンペーンを実施し、回答をした方にプレゼントを用意することで回収率アップをはかりました。 ■北海道大学大学院生の研究に協力し、小型 PC による博物館来館者調査の試行を始めました。来館者の属性や消費行動を分析することでニーズの把握に努めます。 ■ブログや Twitter で施設設備や特徴ある利用の紹介を随時行いました。 ■記載どおり実施
--	---	---

●展示解説や団体向け解説を実施します。 (再掲) ●施設の魅力向上 ・オリジナル商品の開発及び図書の販売 (話題性のある商品の開発・販売、一般書店では手に入りにくい図書類の販売、文庫本へのオリジナルカバー付加、通販対応の継続とホームページでのPRの実施) ●エントランスでの利用促進及びサービスの向上取組(大佛次郎の愛用品展示、大佛次郎の紹介映像の放映)(再掲)	積極的に配布します □団体入館者に対する解説 年40回以上(再掲) ■解説時に、対話によりお客様のニーズを把握します。 ■施設の魅力を向上させるため調度品類を修繕・更新します。随時実施。 大佛次郎記念館オリジナルグッズを展開し、積極的に販促します。 □新規グッズ開発：1アイテム以上 ■図書の販売を継続します ■小学館より刊行の「大佛次郎と猫」の販売メリットを享受するため積極的に宣伝します。 ■紹介映像への注目を誘う表示や、商品のショーケースでの展示内容を検討します。	□団体入館者への解説実施(再掲)82回 (展示解説、ミニ・ミニトークを含む) ■お客様の興味に沿った説明を行うよう、良いコミュニケーションを取りながら解説を行いました。 □展示解説の実施(再掲)19回 □建物ミニ・ミニ・トークの実施 15回 ■2F サロンの籐椅子の更新、ハロウィンやクリスマスなど季節デコレーションの購入 ■PayPay 導入による決済利便性の向上 □ねこ写真展の期間に、新たにねこモチーフの文具、小物を仕入れ販売しました。 ■PayPay を導入しお客様の支払の利便性を高めました。 ■ブックレット「I Love スポーツ。スポーツエッセイ集」「講演録 生地のままに」はサロンに見本を置き、試し読みからの購買を促進するしかけとしました。 ■エントランスにねこや動物のカプセルトイを設置し、来館者へのサービス向上につなげました。 ■ショーケース内を随時入れ替えし、目を引くポップを掲出するなど魅力的なディスプレイに努めました。
---	--	---

ウ 組織的な施設運営

[取組内容] ●適切な運営組織体制と人材の配置 最少人数での最大効	[達成指標] □人材の配置について	[実施内容と達成状況] □最少人数での人員体制の中、遺漏なく業務が執行できるシフトを組み運営体制を保ちました。
---	---------------------------------	---

果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。

項目

人数

備考

館長

1人

副館長

-

職員

3人

事務室1、研究室2

アルバイト

2人

事務室1、研究室1

業務委託

2人

月4回

カルチャースタッフ

4人

受付窓口

□館内会議の実施

研究室会議：月1回

合同会議：月1回

企画会議：月1回

■業務として必要な専門知識向上や資格取得のため、費用対効果も見極めながら、積極的な受講・取得を推進します。

■研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。

■全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。

・文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員の能力向上のため、研修を実施します。
(OJT、MBO、財団・市実施の研修、外部研修への参加)

・事務室、研究室共通業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。

項目

人数

備考

館長

1人

副館長

-

職員

3人

事務室1、研究室2

アルバイト

2人

事務室1、研究室1

業務委託

2人

月4回(うち1名は9月から)

カルチャースタッフ

4人

受付窓口

□記載どおり実施

事業の調整・決定、中長期の企画立案、施設運営の情報共有の場としました。

■業務を行う上で有用な研修を積極的に受講しました。

ACY 主催若手コーディネーター養成講座・施設管理者研修・公共建築物シックハウス対策説明会・公共建築物マネジメント研修・博物館長研修・広報研修・横浜市人権講演会・美術系専門人材研修・チームビルディング研修・広報 ACY 研修・クレーム対応研修等

■野球殿堂博物館、仙台文学館、明治大学米沢嘉博記念図書館、神奈川県立歴史博物館等視察

■高い専門能力を有する職員2名を研究室に配置

■特任研究員の専門的助言を受け能力向上に努めました。

■6月全国文学館協議会総会・研修参加 2名、10月全国文学館協議会研修(北上市) 参加 1名

エ 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容] ・個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企優先発注等	[達成指標] □個人情報漏洩などに関する事故：0件	[実施内容と達成状況] □個人情報漏洩などに関する事故：0件
---	---	--

の取組の実施 ●個人情報保護 (個人情報マニュアルの作成と年1回以上の改定・見直し及び職場内研修の実施、個人情報の適切な取り扱いによる事故防止) ●情報公開 ●人権尊重 (横浜市主催の人権講演会への職員の参加、職場内研修の実施、受付職員を対象とした接遇研修の毎年度の実施) ●省エネルギー・節電 (節電への取組、クールビズ、ウォームビズの実施と来館者への取組周知) ●ごみ (ヨコハマ3R夢プランに基づく取組の実施、ごみの軽減化の取組、印刷・コピーの適切な節制、文書の適切な処分) ●市内中小企業優先発 (特別な専門性が必要な契約等を除く発注の市内中小企業への優先)	■業務計画書、報告書のホームページでの公開：実施 PDFのダウンロードを可能とします。 □契約の見直しによる金額の前年度比マイナスを目指します。 □印刷・コピーの裏紙利用による古紙の減量化 □裏紙利用の啓蒙と裏紙ストック箱の設置 □ゴミ減量を視野に入れた展示方法を模索します ■特別な専門性が必要な契約等を除く発注については、市内中小企業への発注に努めます。	■29年度業務報告書、30年度業務計画書をPDFでホームページに掲載 ■人権研修へ参加 1名 ■可能な範囲の節電に努めました。 ■セブンランプのLED化を実施しました。 ■記載のとおり実施 他館のちらしについては残数をチェックの上、受入枚数の調整を行い古紙の減量化をはかりました。 ■記載のとおり実施 ■大型パネルなど展示資材について再利用できるものは活用しました。 ■記載のとおり実施
--	---	---

(3)施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

[取組内容]	達成指標	[実施内容と達成状況]
--------	------	-------------

●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施 ・保守点検、備品管理、環境維持の実施 ●備品の物品管理簿での管理、年度末の棚卸の実施等による適切な管理 ●消耗品の適切な管理・購入による経費節減と発注事務の軽減 ●大佛次郎遺品類及び関係資料の適切な管理（日常的な確認・点検の実施） ●施設の不具合早期発見のための自主点検の実施 ・適切な環境維持管理業務の実施 ●業務の基準の遵守及び見回りによる清掃	■施設運営に支障がでないように管理します。 ■館建設から40年経過し、建物、設備に劣化が進んでいるので、必要な修繕を実施するように調整します。 ■必要に応じ市と協議を行います。 □物品管理簿と現品との照合による棚卸 年1回 ■在庫管理に努めます。 ■毎日2回の点検、記録、調整の実施（再掲） ■特別書庫内使用の出入庫表への記録 □年1回の燻蒸 □月1回の資料整理 ■必要な資料の修復の実施 □不具合早期発見のため自主点検を実施します。月1回 ■自主点検した内容を財団事務局と情報を共有します。 □ゴミ、汚れ除去の点検（毎日1回）	■記載のとおり実施 ■非常用照明設備更新工事が横浜市により実施され、施設の安全な環境が整いました。 ■機械式警備機器の更新工事を実施し、防犯体制がより強化されました。 □棚卸の実施 1回 ■記載のとおり実施 （再掲） □開館・閉館時に点検、記録、調整を実施 ■特別書庫内使用の出入庫表への記録の実施 ■燻蒸に替えて、総合的有害生物管理（IPM）を導入し、職員全員がIPMを学ぶ研修を受講しました。 □専門業者による書庫内防塵防黴作業 1回、職員による同作業を1回 実施 □月1回の資料整理 実施 ■資料修復の実施 □記載の通り実施 月1回 ■点検等の際には財団事務局施設担当者も立合い、情報共有を密に行いました。 □記載のとおり実施 毎日1回
---	---	--

の対応の実施 ●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整	□管理区域内の植栽剪定作業委託による維持管理	□植栽剪定 年1回実施 ■管理区域外の樹木についても必要に応じ公園管理者に連絡・相談を行いました。
---	-------------------------------	---

イ 小破修繕の着実な実行

[取組内容] ●小破修繕の取組（日常点検で把握した故障等への都度対応による修繕費等の支出抑制、財団のサポートによる効果的、効率的な修繕の実施）	[達成指標] ■随時実施 □不具合早期発見のため自主点検を実施します。月1回（再掲） ■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有し、迅速な対応に努めます。	[実施内容と達成状況] ■随時実施 和室外壁防水工事、ハロゲン化物消火設備バッテリー交換工事、1F男子トイレ水流調整修繕、会議室および和室の鍵修繕 □自主点検 月1回実施 ■不具合箇所については、毎月のモニタリングを通じて横浜市と情報共有を行いました。
---	--	---

ウ 事故予防及び緊急時の対応

[取組内容] ・事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施 ●全体管理について ●危機管理マニュアルの整備と必要に応じた改定 ●職員・カルチャースタッフによる館内の見回り・点検の実施 ●インフルエンザ流行時のポスター掲示、鳥インフルエンザへの留意、ノロウイルス対応の準備と2次感染防止策の徹底 ●緊急時の連絡体制（財団職員の必要に応	[達成指標] ■施設運営に支障がでないように管理します。 ■より実地に沿ったマニュアルに改定します。 □館内巡回 1日4回 ■周知ポスターの掲示をします ■人員変更ごとに改定します。	[実施内容と達成状況] ■適切な管理を実施 ■マニュアルを改定し備え置き □館内巡回 1日4回 ■2FギャラリーにWEBカメラを設置することで職員のPCで展示の監視ができるようになりました。 ■記載どおり実施 ■ノロウイルス対応として、嘔吐物処理対応研修を全員参加で実施しました。 ■記載どおり実施
--	---	---

じた応援依頼や、緊急連絡網の作成と緊急時の速やかな報告・相談の実施) ●AED設置及び研修 (消耗品の定期的な更新・交換、財団主催の操作研修への全員参加)	●スタッフ全員が使用できるよう研修未受講者がいないようにします。	■AED研修 全員受講済
---	---	---------------------

エ 防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施 ●危機管理マニュアルの適宜見直し及び改定 ●避難訓練（自衛消防組織の結成、防災計画の作成、危機管理マニュアルに基づく年2回の避難訓練の実施） ●緊急事態に備えた飲料水、非常食、毛布等の備蓄	■より実地に沿ったマニュアルに改定します。 □防災訓練 年2回	■マニュアルを改定し備え置き（再掲） □年2回実施 9月25日、1月16・28日 9月は中消防署北方消防出張所の指導による火災避難訓練、2月は横浜市防災センター研修及び首都圏直下型地震を想定した避難訓練を実施しました。そのほか横浜市の伝達訓練・かながわシェイクアウト訓練にも参加しました。

5 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●適切な収支構造及び収支バランス	■優先順位を見極め、緊急度の高いもの、必要性の高いものから執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。	■適切な執行管理を行いました。 ■31年度に向けて委託契約について見直しを行い、警備および清掃業務で前年度マイナスを実現予定です。 ■不要不急の支出を控え収支に対する意識

		をもって経費を執行しました。
--	--	----------------

イ 指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・指定管理料のみに依存しない収入確保の取組 ●利用料金収入の確保 (有料入館者数増に向けた取組の実施) ●おさらぎ選書への広告掲載、企画展の協賛依頼 ●ショップ売上目標の設定	■大佛次郎×ねこ写真展2019を、テーマ展示と同時に開催することで、新たな入館者層を開拓します。 □広告掲載4社 □ショップ売上目標： 1,700,000円	■ねこ写真展の積極的な情報発信を行い、3月の来館者数が一日平均123名と入場料収入に寄与しました。 □有料広告掲載者6社(2社増) □ねこ写真展への協賛4社(1社増) □クリスマス茶会への協賛2社(新規) □ショップ年間売上： 1,757,705円

ウ 経費削減及び効率的運営努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
・経費節減等効果的運営の努力 ●発注・事務処理上の留意点 (契約にかかる経費削減、支払時の事務処理時間及び振込手数料の削減、計画的な発送処理により作業時間及び郵送料の削減、廃棄物の削減) ●施設、設備管理上の留意点 (早期対応による設備の長寿命化の実現と修繕費の節制、省エネルギーのための取組と光熱水費の節減)	■在庫管理を徹底します。 ■管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。 □電気・水道使用量 前年度比マイナス ■下半期からの経費執行の情報共有を館内職員で図り、弾力的な運用を行います。	■記載どおりに実施 ■記載どおりに実施 □電気 29年度比△2.5%、水道同△7.7% ■記載どおりに実施

●コスト意識 (職員の超過勤務削減、業務分担の平準化、業務の外注化等の促進、効率的な勤務体制の実施)	■必要のない電気・水道の利用を減らすよう声掛けを行います。	■記載どおりに実施 ■超勤の事前申請を徹底し、仕事量と時間を意識させました。また業務内容の見直しを行い、効率的な執務を目指しました。 □30年度 超勤月平均時間 10.1H/月 (前年度 15.1H、△5.0時間/月)
---	--------------------------------------	--

6 P D C Aサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

[取組内容] ●日報、月間事業報告書の作成と管理	[達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。	[実施内容と達成状況] ■適切に対応
--	---	----------------------------------

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容] ●業務計画書、業務報告書の作成と管理	[達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。	[実施内容と達成状況] ■適切に対応
---	---	----------------------------------

ウー1 業務評価(モニタリングの実施)について

[取組内容] ●モニタリングの実施による業務評価	[達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。	[実施内容と達成状況] ■適切に対応 月1回実施
--	---	--

ウー2 業務評価(自己評価の実施)について

[取組内容] ●自己評価の実施による業務評価	[達成指標] ■業務の基準に則り適切に対応します。	[実施内容と達成状況] ■適切に対応
--------------------------------------	---	----------------------------------

ウー3 業務評価(第三者による評価の実施)について

[取組内容] ●第三者評価の実施による業務評価 ※該当年度のみ対象	[達成指標] ■平成30年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。	[実施内容と達成状況] ■事業視察対応 計3回 8月、3月
---	---	---

7 その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容] ●保険の加入と損害賠償への対応	[達成指標] ■業務の基準に則り、対人1億円の保険金額の施設賠償等保険に加入します。	[実施内容と達成状況] ■適切に対応
---------------------------	---	-----------------------

イ 関係法令の順守

[取組内容] ●関係法令の遵守	[達成指標] ■コンプライアンス事故ゼロの達成	[実施内容と達成状況] ■コンプライアンス事故ゼロを達成
--------------------	----------------------------	---------------------------------

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容] ●市及び関係機関等との連絡調整	[達成指標] ■モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。	[実施内容と達成状況] ■適切に対応しました。
---------------------------	--	----------------------------

平成30年度 「大佛次郎記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	50,692,000		50,692,000	50,692,000	0	横浜市より
利用料金収入	700,000		700,000	839,600	△ 139,600	和室・会議室利用
自主事業収入	2,470,000		2,470,000	1,835,550	634,450	コレクション展収入・事業収入
雑入	2,924,000	0	2,924,000	3,338,008	△ 414,008	
コピー複写等	154,000		154,000	510,503	△ 356,503	その他事業収入、協賛金
ティールーム設備料	1,070,000		1,070,000	1,069,800	200	ティールーム設備料
その他（ショップ収入）	1,700,000		1,700,000	1,757,705	△ 57,705	ショップ売上
収入合計	56,786,000	0	56,786,000	56,705,158	80,842	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,127,000	0	38,127,000	37,234,467	892,533	
給与・賃金	31,045,000		31,045,000	29,532,210	1,512,790	カルスタ4名人件費および特任研究員等2名・事業臨時雇の委託費含む
社会保険料	4,440,000		4,440,000	4,400,545	39,455	
通勤手当	1,169,000		1,169,000	1,260,834	△ 91,834	
健康診断費	56,000		56,000	30,878	25,122	
勤労者福祉共済掛金	0		0	24,000	△ 24,000	
退職給付引当金繰入額	1,417,000		1,417,000	1,986,000	△ 569,000	
事務費	3,095,000	0	3,095,000	3,244,460	△ 149,460	
旅費	70,000		70,000	64,832	5,168	
消耗品費	800,000		800,000	343,631	456,369	
会議賄い費	0		0	18,466	△ 18,466	雑支出（その他）
印刷製本費、広告宣伝費	200,000		200,000	349,198	△ 149,198	施設広告宣伝費・W E B関連費用含む
通信費	120,000		120,000	503,563	△ 383,563	
使用料及び賃借料	1,118,000	0	1,118,000	1,139,739	△ 21,739	
横浜市への支払分	968,000		968,000	913,034	54,966	H30年度外使用料
その他	150,000		150,000	226,705	△ 76,705	複写機・AED等リース料
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費・所蔵資料修復	150,000		150,000	151,200	△ 1,200	資料修復1点
施設賠償責任保険	300,000		300,000	294,450	5,550	施設賠償責任保険及び動産保険
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	100,000		100,000	340,381	△ 240,381	銀行集配金手数料含む
リース料	0		0	0	0	
手数料	0		0	0	0	
会費・負担金等	37,000		37,000	39,000	△ 2,000	博物館協会、ハロウィンウォーク協力金
事業費	2,737,000	0	2,737,000	2,229,373	507,627	
自主事業費	2,737,000		2,737,000	2,229,373	507,627	
管理費	6,752,000	0	6,752,000	6,911,814	△ 159,814	
光熱水費	1,400,000	0	1,400,000	1,468,643	△ 68,643	
電気料金	1,220,000		1,220,000	1,243,466	△ 23,466	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	180,000		180,000	225,177	△ 45,177	
清掃費	2,140,000		2,140,000	2,260,440	△ 120,440	
修繕費	552,000		552,000	815,656	△ 263,656	
機械警備費	750,000		750,000	741,312	8,688	
設備保全費	1,910,000	0	1,910,000	1,625,763	284,237	
空調衛生設備保守	420,000		420,000	460,080	△ 40,080	
消防設備保守	300,000		300,000	118,800	181,200	
電気設備保守	150,000		150,000	147,096	2,904	
害虫駆除清掃保守	300,000		300,000	288,036	11,964	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	740,000		740,000	611,751	128,249	生花及び植栽管理、複写機保守
共益費			0	0	0	
公租公課	2,269,000	0	2,269,000	2,697,800	△ 428,800	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,269,000		2,269,000	2,696,000	△ 427,000	
印紙税	0		0	1,800	△ 1,800	
その他（ ）	0		0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	3,806,000	0	3,806,000	3,806,000	0	
本部分	3,806,000		3,806,000	3,806,000	0	事務局積算による数値
当該施設分	0		0	0	0	
支出合計	56,786,000	0	56,786,000	56,123,914	1,449,315	
差引	0	0	0	581,244	△ 581,244	